

防災体制をより一層強化

消防団出初・観閲式

年の初めに消防団員が一同に集まり、士気を高めようと1月16日、消防団出初・観閲式が三好公園陸上競技場で行われました。初めに消防団員による放水訓練を実施。その後観閲を行った。久野知英町長は「昨年は災害が非常に多い年でした。巨大地震の発生がますます心配されています。なお一層の救援、防災体制を協力して進めていきましよう」と式辞を述べました。最後に全員で火の用心三唱を行い、無火災を願いました。



丹精込めた作品ばかり

新春盆栽展

文化協会盆栽部会の皆さんの作品を広く展示する新春盆栽展が、1月5日から8日まで中央公民館で開かれました。作品は、新春にふさわしいものをテーマに、この展示会に向けて丹精込めて育てられた松・竹・梅を使った12作品。盆栽部会の浅野廣さんは「秋の文化祭とは別の季節の作品を多くの人に見ていただきたくて、半年以上前から準備してきました。それぞれの個性を生かした作品ばかりです」と特徴を話していました。



生きいき歩いて健康づくり

新春町民歩け歩け運動の会

歩くことで健康増進を図り、体力づくりに役立ててもらおうと1月9日、新春町民歩け歩け運動の会が三好池で行われました。参加した80人は、冷え込んだ早朝にもかかわらず、一周4.5kmのトリムコースを生きいきと歩いていました。普段から散歩をしているという男性は「自分のペースで運動できるウォーキングは、運動不足の解消に最適ですね」と歩き終えた後、振る舞われたお汁粉を食べて、体を温めていました。



練習の成果が出せました

書き初め大会

新春恒例の書き初め大会が1月11日、町内の小学校で行われました。天王小学校では1年生から6年生の児童538人が参加。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、学年ごとに決められた題目に臨み、冬休みに練習した成果を発揮しようと真剣な表情で筆を走らせていました。書き終えた4年生の近藤未彩みいろさんは「うまく書けたものがあって、練習した成果が少しは出せたと思います」とほっとした様子でした。



一致団結して安全なまちづくり

明知上防犯パトロール隊発足式

犯罪や事故のない地域づくりのため1月16日、明知上防犯パトロール隊が結成され、発足式が明知上公民館で開催されました。団体パトロール隊と犬の散歩時のワンワンパトロール隊、防犯ステッカーを張った自動車パトロール隊で構成されるのがこの隊の特徴です。豊田警察署の長村利政署長おさむらとしまさは「より一層の協力支援をしていきますので、息の長い活動をお願いします」とあいさつ。その後、隊員は早速パトロールに出発しました。



安全に対する意識を見直す

シルバー交通安全教室

交通安全に対する知識を深めてもらおうと1月13日、中部トラック総合研修センターでシルバー交通安全教室が開かれました。参加した老人クラブ会員87人は、豊田警察署署員による寸劇を見た後、運転適正検査などで自己運転能力を確認。その後会場を移動し、車の巻き込みなどの実演を交えた説明を受けました。受講した光岡清しみずさんは「左右などの安全確認がいかに大切か痛感しました」と安全に対する意識を見直していました。

